

第33回マーチングバンド・バトントワーリング中国大会審査について

審査部

1. 審査員について

氏名	小学校マーチング担当	中学校マーチング担当
原 幸雄先生	全体演奏演技－音楽	全体演奏演技－調和－音楽
篠原 修先生	全体演奏演技－視覚（含むCG）	全体演奏演技－調和－視覚（含むCG）
秦 和夫先生	全体演奏演技－音楽	全体演奏技術－表現力
山崎 浩先生	全体演奏演技－視覚	全体演技技術－表現力
草場 睦浩先生	全体演奏演技－音楽	全体演奏技術－表現力
氏名	高校・一般マーチング担当	カラーガード担当(参考審査)
原 幸雄先生	音楽・視覚調和（技術観点は除く）	全体効果
篠原 修先生	音楽・視覚調和（技術観点は除く）	アンサンブル
秦 和夫先生	演奏の調和・管楽器技術	手具の技術
山崎 浩先生	演技の調和・演技の技術（含むCG）	ボディーワークの技術
草場 睦浩先生	打楽器の技術	

原則として全国大会と同様の基準で審査を行うこととする。ICレコーダーによる審査とする
詳しい評価方法は第44回全国大会要項を参照すること。

☆小学生の部

- ①全体的表現…全体構成、音楽と視覚の調和、ミュージシャンシップ、完成度
 - ②音楽的表現… 表現、バランスとブレンド、強弱、統一感
 - ③視覚的表現… 表現、ポジションワーク、動作の鮮明度と同一性、リカバリー
- ①②担当3名 ①③担当2名

☆中学生の部

- ・全体的演奏・演技の調和（2名）
 - ①全体的表現… 全体構成、音楽と視覚の調和、ミュージシャンシップ、完成度
 - ②音楽的表現… 表現、バランスとブレンド、強弱、統一感
 - ③視覚的表現… 表現、ポジションワーク、動作の鮮明度と同一性、リカバリー
- ①②担当1名 ①③担当1名

- ・全体的演奏技術と表現力（3名）
- 演奏技術…呼吸法、音質、音程、アーティキュレーション、打楽器奏法の統一
- 表現力 …ダイナミックレンジ、フレージング、バランスとブレンド、スタイル、ミュージシャンシップ
- ・全体的演技技術と表現力（1名）
- 演技技術…スタイルの統一と適応、動作の完成度、楽器と手具の保持および使い方、間隔の揃え方、動作の転換とタイミング
- 表現力 …コミュニケーション、ボディーワーク、手具などの表現、ショーマンシップ

小学生の部、中学生の部では一人あたりの得点を100点満点とし、5人分の点数を合計し、その平均点（小数点第2位まで用いる）から減点を引いたものを各団体の得点とする。

☆高等学校の部、一般の部

<音楽と視覚の調和（200点）>（2名、計400点）

作品の全体的調和（100点）

コーディネーション、音楽と視覚の調和、独創性と多様性

作品の解釈と表現（100点）

表現の幅と質、ミュージシャンシップとショーマンシップ、完成度

＜演奏の調和・管楽器の技術（200点）＞（1名）

演奏の調和（100点）

演奏の音楽性、演奏の質と技術

管楽器の技術（100点）

基礎技術力、表現力

＜演技の調和・演技の技術（CGを含む）（200点）＞

演技の調和（100点）

視覚要素（フォーム、ボディ、手具）、演技の質と技術

演技の技術（100点）

基礎技術力、達成度と表現力

＜打楽器の技術（100点）＞

基礎技術力、表現力（100点）

打楽器の技術を除く、審査員一人につき、各観点100点の計200点を持ち点とする。（打楽器の技術は100点）各審査員の評点を合計し、900点満点を9で割った値（小数点第2位を四捨五入）から減点を引いたものを各団体の得点とする。

☆カラーガード部門について（参考講評）

＜アンサンブル（200点）＞

構成（フォーム、ボディ、手具）（100点）

統一性、視覚的音楽性、表現力、多様性

演技の質と技術（100点）

同一性、全般的技術、アーティキュレーション、鮮明度、リカバリー

＜手具の技術（200点）＞

表現形式（手具の動作に関して）（100点）

バラエティー、ダイナミックス、コンビネーション、適正

理解度と達成度（手具を操作するうえでの）（100点）

トレーニング、コントロール、融合、リカバリー、タイミング

＜全体的効果（200点）＞

作品の効果（100点）

コーディネーション、視覚と音楽の調和、独創性と多様性

作品の解釈と表現（100点）

作品の幅と質、ショーマンシップ、完成度

＜ボディーワークの技術（200点）＞

表現形式（100点）

バラエティー、ダイナミックス、コンビネーション、適正

理解度と達成度（手具を操作するうえでの）（100点）

トレーニング、ポジション、コントロール、融合、リカバリー、タイミング

一人の審査員につき、各観点100点の計200点を持ち点とする。各審査員の評点を2で割り、100点満点に換算して4人分を合計し、その平均点（小数点第2位を四捨五入）を各団体の得点とする。優秀賞を授与する。

2. コンテスト部門出場団体と全国大会枠について

部門	出場団体数	全国大会枠
小学生の部		1
中学生の部		1
高等学校の部<小編成>		1 } 全体から 2
高等学校の部<中・大編成>		1 }
一般の部		1

(注) 高等学校の部においては小編成から上位 1 団体、小編成推薦団体をのぞいたすべての編成から上位 2 団体の計 3 団体

3. 得点と賞について

部門	金賞	銀賞	銅賞
幼児・小学校の部	100～75点	74～55点	54点～
中・高・一般の部	100～80点	79～60点	59点～

4. 順位の決定方法について

順位は、団体得点の値がもっとも大きな団体から順に決めます。同点の場合には、観点ごとの順位である席次合計の数字が小さい団体を上位とします。席次順位が同点の場合は、審査員の合議で決定します。